



2013年5月1日発行
第20号

誘致企業 (2013年1月～3月)

企業名	本社所在地	立地場所	業種等
(株) プリントパック	京都府	北九州市	インターネットを通じ注文した各種印刷物の印刷、発送業務
シーシーアイ (株)	岐阜県	北九州市	自動車用のブレーキ液及びエンジンクーラントの製造
スリープロ (株)	東京都	福岡市	コンタクトセンター業務

福岡県への企業進出進む

・インターネットを活用した印刷通販会社である株式会社プリントパック(本社:京都府)が北九州市に新設することを決定。投資額は約15億円。平成25年8月に操業を開始し、新規雇用は約50名の予定。

・自動車用のブレーキ液及びエンジンクーラントの製造を行うシーシーアイ株式会社(本社:岐阜県)が北九州市に新設。投資額は15億円。平成25年12月に操業を開始し、新規雇用は約10名の予定。

・企業向けにコンタクトセンターサービスを提供しているスリープロ株式会社(本社:東京都新宿区)が福岡市内に「福岡コンタクトセンター」を新設。平成25年4月に操業を開始し、雇用は約200名の予定。

有効求人倍率

	全国	福岡県	地域別				
			福岡地域	北九州地域	筑豊地域	筑後地域	
2010年度	0.56	0.50	0.48	0.58	0.48	0.45	
2011年度	0.68	0.60	0.59	0.71	0.53	0.54	
2012年度	12月	0.83	0.72	0.79	0.84	0.62	0.67
	1月	0.85	0.72	0.81	0.85	0.64	0.68
	2月	0.85	0.73	0.83	0.84	0.64	0.67

(出典：福岡労働局「平成25年3月29日発行 雇用失業情勢(平成25年2月分)について」)
 ※全国及び福岡県の数値は季節調整値(地域別は原数値)

福岡県企業立地関連情報

「福岡県企業立地セミナー」in 東京 2013. 5. 28(火)開催

本県はこの度、首都圏の企業に対し本県への理解と進出意欲の促進を図るため、県内の優れた立地環境や企業の先進的な取り組みを紹介する「福岡県企業立地セミナー」を開催いたします。

本セミナーでは、グリーンアジア国際戦略総合特区の取組みや支援制度を紹介するとともに、支援制度を活用し設備投資された企業やBCPの観点から本県への立地を決定された企業のご講演とともに、福岡県へ進出する際のメリット・ポテンシャルについてご紹介いたします。

【日時】平成25年5月28日(火) 15:00~17:00 ※17:00より交流会を開催します。

【場所】品川プリンスホテル メインタワー36階宴会場(東京都港区高輪4-10-30)

【募集日(申し込み方法)】下記URLより、福岡県企業立地情報HP「福岡県企業立地セミナー」の開催についてを開き、ページ下部「セミナー案内チラシ」により、FAXまたはメールでお申込みください(先着200名)。

URL : <http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp/news/73>

平成24年(2012年)の福岡県の工場立地件数は全国7位、面積は全国8位

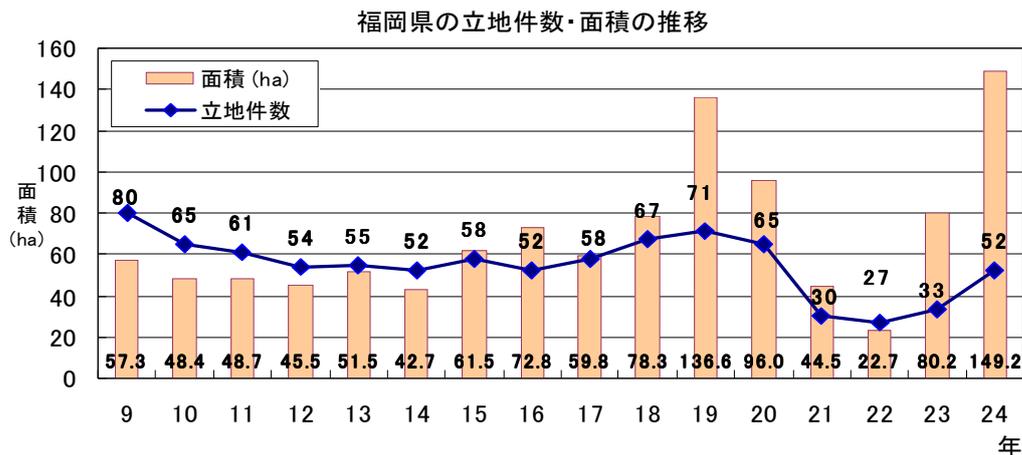
工場立地動向調査は、経済産業省が工場立地法第2条に基づき、暦年ごとに企業の工場用地等(敷地面積1,000㎡以上)の取得(借地を含む)状況を調査しているものです。

平成24年(2012年)の福岡県の工場立地件数は52件(全国7位)、面積は149.2ha(全国8位)でした。

昨年に比べ、件数、面積とも全国的に増加傾向にあり、本県においては件数が前年比19件増、面積については前年比69.0ha増となりました。件数及び面積が増加した理由は、太陽光発電施設の設置を行う電気業の立地案件の増加が大きな要因です。

詳細は県HPIに掲載しています。

HP URL : <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/d01/ricchi-doukou.html>



福岡の経済トピックス



左から小川知事、本田社長

筑豊地域初！三泉化成株式会社をグリーンアジア国際戦略総合特区の指定法人に！

4月19日、総合特別区域法に基づく課税の特例措置を受ける法人として三泉化成株式会社を指定し、同社の本田隆介代表取締役社長へ法人指定書を交付しました。

小川知事は同社に対し、「筑豊地域第1号の指定法人として、先頭を切って地域の経済発展にご貢献いただきたい」と述べました。

これを受け、本田社長は「今後、自社の得意分野を生かし、環境性能に優れた自動車生産に向けて、さらに高強度、軽量化部品の開発・生産に努めていきたい」と応じられました。



KLMオランダ航空代表取締役兼最高執行責任者ピーター・エルバース氏と握手する小川知事

KLMオランダ航空 福岡ーアムステルダム路線就航記念式典を開催

4月4日、福岡空港で初めてのヨーロッパへのノンストップ直行便となるKLMオランダ航空の福岡ーアムステルダム線が就航しました。この路線は福岡発が月・木・土曜日の週3往復で運航され、飛行時間約12時間でヨーロッパのハブ空港のひとつであるアムステルダム・スキポール空港に到着します。福岡を出発したその日のうちにオランダ・アムステルダムを経由して70を超えるヨーロッパ各都市に行くことができます。

就航記念式典に出席した小川知事は「この就航を機に、福岡・九州とオランダ・ヨーロッパの両地域の交流が、観光、ビジネス、文化、あらゆる面で拡大していくことを心から望みます」と祝辞を述べました。

ILC計画実現に向け「ILCアジアー九州推進会議」設立報告会を開催

3月27日、ILC(国際リニアコライダー)計画の日本、さらには九州での実現を目指す「ILCアジアー九州推進会議」は、東京において、九州山口地域の国会議員を対象に設立報告会を開催しました。

当日は、代表の有川九州大学総長、松尾九州経済連合会会長とともに、顧問の小川知事、松本県議会議長が出席し、九州山口地域の国会議員53名の方々に推進会議の取組を報告しました。

九州山口地域は、アジアと連携、協力しながらともに発展しており、アジアの候補地・日本でのILC計画実現に大きく貢献できます。今後とも、豊富な住宅ストック、外国人対応の教育・医療機関の集積、アジアの主要都市・日本各地との交通ネットワーク、さらには、4月に就航した欧州直行便など、研究者とその家族が安全・安心・快適に研究、生活できる環境や地元の熱意をアピールし、ご理解とご支援を求めてまいります。



挨拶を行う河村リニアコライダー国際研究所推進議員連盟会長

「次世代自動車 分解・構造研究事業」2013. 2. 20(水)、21(木)開催

2月20日、21日、トヨタ自動車九州株式会社(本社:福岡県)の協力の下、「次世代自動車 分解・構造研究事業」を開催しました。

昨今の低炭素社会の実現に向けた取組の強化や原油価格の高止まり等から、次世代自動車(ハイブリッド自動車や電気自動車、燃料電池自動車等)に対する注目が集まり、普及拡大が見込まれています。

次世代自動車では、パワートレイン等の変化に伴い、従来のガソリン車と比べて、自動車の構造や部品の種類が大きく変化しています。

このため、県下企業の皆様が次世代自動車部品の開発・生産に備えるために、地元生産車種であるレクサスCT200h(ハイブリッド自動車)を分解しながら、部品の機能・構造等を研究する機会を提供しました。

福岡県は、地場企業の次世代自動車部品の開発・生産に向けた取組を今後も支援してまいります。



熱心に説明を聞く参加者(写真上)、解体の様子(写真下)

●その他の話題

・2月5日、福岡市内で福岡県、北九州市、福岡市、地元経済界との共同により、グリーンアジア国際戦略総合特区推進フォーラムを開催。県内企業を中心に大学や行政関係者など約500名が参加。小川知事は「産学官が一体となって特区を強力に推進し、この地域をアジアの中でも最も勢いのある先進的・魅力的な地域にしていきたい」、とあいさつ。また、企業による事例発表では、株式会社安川電機の利島会長、ダイハツ九州株式会社の魚井会長からの発表があった。

・2月18日、日本貨物航空株式会社(本社:千葉県)が、北九州空港への国際定期貨物便(成田-仁川-北九州-成田線)の運航開始を発表。5月11日から毎週土曜日の週1便で運航予定。

・2月19日、Ruby・コンテンツの世界的動向を紹介する「Ruby・コンテンツフォーラムFUKUOKA」を福岡市で開催。フォーラムでは、クラウドを用いたビジネスのあり方や、アメリカのソフトウェア市場の最新トレンドをテーマにした講演などが行われた。また、Rubyを使った革新的なシステムや新しいビジネスモデルなど優れた取組を表彰する「フクオカRuby大賞」には株式会社アイ・エル・シー(本社:広島県)が、「福岡ビジネス・デジタル・コンテンツ大賞」には株式会社しくみデザイン(本社:福岡市)がそれぞれ表彰された。

・3月4日、半導体及び電子部品等の販売、環境・エネルギー分野のコンサルティングなどを行う株式会社バイテック(本社:東京都)が、小竹町(小竹団地)にてメガソーラー発電所第1号の運転を開始。立地面積が約32,480㎡、発電設備の規模は約32,480㎡、発電設備の規模は約2,500kW。投資額は約10億。

・3月29日(発表)、使用済蛍光灯からレアアースを取り出し、再び蛍光灯に使用するレアアースリサイクル事業が本格的に始動。福岡県、福岡県リサイクル総合研究事業化センター、三井金属鉱業株式会社、日本イットリウム株式会社、株式会社ジェイ・リライツ、九州大学平島剛教授の共同プロジェクト。日本イットリウム株式会社では年間約100トンの廃蛍光粉の処理(約60トンのレアアースの製造)が可能。最大量での処理が出来れば、蛍光体レアアースの国内需要の約12%相当を生産することが可能。

・3月29日、学識経験者や地元自動車メーカーの代表などでつくる「北部九州自動車産業振興戦略検討委員会」は、北部自動車産業の新たな発展戦略について知事に提言。

・3月13日(発表)、公益財団法人「水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)が国内初となる水素ステーション等に用いられる大型水素貯蔵タンクの試験施設の整備に着手。本施設整備により、HyTReCは燃料電池自動車用から水素ステーション用までの多様な水素貯蔵タンク試験に対応できるわが国で唯一の試験機関になる。

・4月19日、「有機光エレクトロニクス実用化開発センター」の開所式を開催。本センターは、九州大学 安達千波矢(ちはや)教授が開発中の「原料に希少金属を使用しない世界最高の発光効率を有する有機EL素材」を活かした、産学官連携による実用化研究を通じて、産業界への技術の橋渡し拠点となる施設。小川知事は「本センターを核にして、有機ELに関する世界最先端材料の研究開発から、新たな製造プロセスの開発、有機ELデバイスの試作とその耐久性や特性評価まで、一連の支援を行い、実用化を促進することにより、開発された製品を、この分野における日本の地位向上の切り札にしていきたいと思います。この福岡を有機ELデバイス関連産業の拠点に育ててまいります」とあいさつ。

福岡県への企業立地に関するお問い合わせ先

福岡県商工部企業立地課(発行元)

〒812-8577福岡県福岡市博多区東公園7-7
TEL.092-643-3441 FAX.092-643-3443 E-mail:kigyoo@pref.fukuoka.lg.jp

東京事務所・東京企業誘致センター

〒102-0083東京都千代田区麴町1-12ふくおか会館
TEL.03-5215-7161 FAX.03-3263-7474 E-mail:toukyoo-o@pref.fukuoka.lg.jp

大阪事務所

〒530-0001大阪府大阪市北区梅田1-3-1-900大阪駅前第一ビル9階
TEL.06-6341-3627 FAX.06-6341-3622 E-mail:oosaka-o@pref.fukuoka.lg.jp

名古屋事務所

〒460-0008愛知県名古屋市中区栄4-1-1中日ビル7階
TEL.052-262-6938 FAX.052-262-6945 E-mail:nagoya-o@pref.fukuoka.lg.jp

工場等の事業所用地・優遇制度の詳細はHPで

「福岡県企業立地情報」

<http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp>

福岡県 企業立地

検索